

キラリ★八代人



山口 凌さん
(八代高校1年)

「能の魅力を多くの人に伝えたい」
そう話すのは山口凌さん。小さい頃から歴史が好きで、妙見祭の神幸行列に毎年参加し、笠鉾を担いでいるほどだ。能との出会いは子ども能楽体験教室で、すぐに興味をもち小学3年生から習い始めたという。その後小学4年生のとき、韓国での公演で初舞台を経験。美しい舞や曲に魅了され、能の魅力に引きこまれた。

昨年5月28日～29日にスウェーデンで行われた「日本・スウェーデン外交関係樹立150周年能公演」では、国王や王妃、大使の面前で地謡を披露した。

公演までの1カ月で2演目を覚えなくてはならない、奥行きを出すために舞台が斜めになっているなど、日本とは違った舞台演出に苦労したが「公演中はお客さんの反応が良く、

能の魅力を世界に発信



▲能を披露する山口さん

終わった後はスタンディングオベーションが起き、とてもうれしかった。貴重な経験になった」と振り返る。公演のあとのレセプションでは、王妃や副大臣と英語での会話を楽しんだという。

目標にしている人は細川藩が庇護していた金春流の櫻間家21代当主、櫻間右陣さん。難しい謡や型もあるが、その中の感情や情景を理解できた時は達成感があるという。櫻間先生のように舞えるよう、日々稽古を頑張っている。

「多くの人が舞台を見に来てくれること、能のことを知ってもらうことが一番うれしい」と話す山口さんの活躍に目が離せない。

先輩社員の声

- 先輩が優しく、気軽に話せる雰囲気なか、みんなで協力し作業しています。
(製造・男性・25歳)
- 病気やけがで日常生活に困っている人を助けることのできる製品をつくらせているので、とてもやりがいを感じます。
(開発・男性・35歳)



社長メッセージ

弊社は創立30周年を迎えた、「思いやりをかたちに、ベストサポートを目指します」をモットーに、義肢装具の自社ブランド製品を製造販売している会社です。

国内はもとよりドイツやスイス、韓国など海外の企業とも取引し、多くの人にご利用いただいています。

お客さまのためにけがや病気の早期治療、生活の質の向上に役立つ装具を研究開発し提供することが弊社の使命です。



発見★元気印の会社 13

今月の元気印の会社は経済産業省の地域経済牽引企業に選定され、県のブライト企業に認定された「アドバンフィット」です。



《会社概要》
アドバンフィット株式会社

代表取締役 児玉 春生
所在地 八代市長田町 3300 番地
☎ 33-3992

HP <https://advanfit.co.jp/>
従業員数 27人
事業内容 製品製造販売(治療用装具)
輸入装具部品販売

